

【3月15日（月）朝会の話】

それでは元気よく朝の挨拶をしましょう。

おはようございます。

2011年、今から10年前の3月11日に「東日本大震災」という大きな地震が起きました。震度7の大きな揺れや、大津波、火事などにより、東北地方を中心に1万8千人を超える死者・行方不明者が発生しました。今でも、避難している人は4万人以上もいるそうです。先週の避難訓練でお話したように、そのとき先生は深大寺小学校で担任をしていましたが、立ってられないほどの揺れで泣き出す子がいたことをよく覚えています。



北ノ台小学校には、この「東日本大震災」の後、東京の学校から被災地に移って、1年間、子供たちに勉強を教えていた先生がいます。その先生は1年1組担任の福士直哉先生です。では福士先生から当時のお話をさせていただきます。

（福士先生のお話）

- ・2011年3月11日に大きな地震が起きて、東北地方を中心に大きな被害をもたらしました。
- ・東北地方の人手が足りなくなり、福士先生は東京都の先生から、1年間だけ、宮城県石巻市の先生をすることになりました。福士先生が地震から2か月後の5月の始め。2か月もたてば、少しずつ町は元通りになっているのかな…と思いますよね。この地震では大きな津波が発生しました。津波は本当に恐ろしく、家も自動販売機もつぶれたままになっていました。
- ・でも調布は海が遠いから津波はこない。だから大丈夫…と安心していませんか。この写真は海から遠い地域の写真です。地震の揺れのせいで、1階が2階に押しつぶされてしまいました。みなさんの住む家や学校は新しいから大丈夫…？災害に絶対安全という約束は誰にもできません。みなさんの通学路にもあるブロック塀が倒れています。1つ1つがとても重いです。避難訓練でも話していますが、倒れるものの近くにいるのは危険というのはこういうことです。
- ・地震によって家がなくなると仮設住宅というところで生活をします。簡単なつくりになっているので、夏は暑く、冬は寒くて大変なようです。一番多いときで27万人程の人々が仮設住宅に住んでいました。仮設住宅に入れた人はまだラッキーな方で、入れなかった人は避難所で生活します。ここは先生が働いていた小学校の体育館です。段ボールで囲っているところに家族で生活していて、当然近所の声はまる聞こえです。家族だけで落ち着いて過ごすことができないのは大きなストレスになります。
- ・大きな地震があると給食も作れなくなります。これは5月ある1週間の給食です。メニューはパンと牛乳だけ。6月になると2日に1回、パンの代わりにご飯になりました。
- ・最後に福士先生から2つお願いがあります。大きな災害が起こり、今までと同じような生活ができない人がたくさんいます。避難訓練はみなさんの命と生活を守る訓練です。ぜひ、これからの訓練はもっと真剣な気持ちで取り組んでください。そして、今みんなが当たり前に行っていることが実はとても素晴らしいことです。ぜひ、周りのお世話になっている方々に感謝の気持ちをもちましょう。

これで福士先生のお話を終わります。

先週の避難訓練は、今の学年で行う最後の避難訓練でしたが、800人以上の人数が避難するのに5分かからず、これまでの避難訓練の中で最も短い時間で避難することができました。本当に立派です。4月からの避難訓練も1回1回を真剣に行っていきましょう。

朝の全校朝会も今の学年では、今日が最後となりました。進級・進学を前にして不安な人もいるかもしれませんが、北小のみなさんなら大丈夫です。どうか自信をもってください。そして、残り少ない3学期を大切に過ごしていきましょう。

それではお話を終わります。（礼）